

成人のみなさん おめでとう

成人に寄せる言葉



富士市長
渡辺彦太郎

晴れて成人になられた皆さんに心からお祝い申し上げます。

あなた方が心身ともに立派に成長されたことは、成人の証明であり、大人の仲間入りをすることです。従って、これからは、独立独歩、社会人として自立していくために、皆さんの行動のすべてに自覚と責任が要求されてきます。

現代社会は、生活の水準もあがり、たしかに豊かさをもたらしたものの、刹那的な不確実性の社会だといわれています。皆さんは、こうした社会的風潮のみに埋没することなく、若者らしい理性と情熱で、職場や地域社会に積極的に参加と連帯の行動をおこし、新しい時代をリードする期待される市民となることを切望して止みません。

おわりに、皆さんの前途洋々たる将来を祝福し、ご健康とご活躍を祈念して、意義ある成人の日に寄せる祝辞といたします。

成人の諸君へ



富士市議会議長
中井浜次郎

成人おめでとう—。先輩社会人として心からおよろこび申し上げます。

諸君は、きょうから周囲の保護を離れて、この社会でひとり立ちとなる。その門出をみんなではげましてあげるのが、きょうの祝日です。

いままでは、法律的にも世習上からも保護される側(がわ)にあった諸君だが、きょうからは違う。いままでのような「甘え」は通用しない。きょうから諸君を見る世間の目はきびしいものに変ってくるでしょう

諸君は、社会人としての権利を取得するが、しかしそれとはうらはらに責任と義務を負うことになる。だから同じおめでとうでも、きょうのおめでとうは、ひと味違うきびしさがあると思っていいただきたい。おめでとう、といわれてそれに自信をもって応えられる自覚ある諸君なら大丈夫だ。諸君を迎える大人の社会は決して甘いものではない。みんな懸命に生きているのだから—。生きていくということが、なまやさしいものでないことを諸君はこれから知ることでしょう。本当の、本気の人生がきょうの諸君のその足元からはじまる。頑張ってください。おめでとう。

研修と実践を

富士市教育長
時田忠蔵



人生にはふし目が大切です。そこを折り目として古いものから脱皮し、より高い視野を持ちより広い人生の出発点とするからです。

成人式は、国をあげてそれを祝う行事であります。私は、大正の末に15歳で成人式を迎えました。

保証人に付添われて公会堂に集まり、村の長老や先

輩の居並ぶ前で社会人としての心構えを誓ったものです。この日、内々の祝宴の時、平素、酒を飲まない父が初めて真赤に酔って喜んだ姿は今も忘れられません。

成人式の日から私達は社会人として一人前に扱われ、漁に出る者は、大人並の分け前を貰いました。したがって私達も服装や言葉づかいに気をつけ、隣人とは日常の挨拶を交し、村の奉仕活動にも参加しました。回顧すると、私の人生にとっては大きな折り目であり、懐かしい思い出の多い時期でありました。

本日、はたちで成人を迎える皆さん、おめでとう。皆さんに対する市民の期待は大きい。本日を人生の折り目として、社会人としての自負と視野を持ち、研修と実践を積まれるよう心から期待します。

20歳をむかえて

私はこう生きたい

成人代表6人から抱負を聞く

20歳の成人を迎えた皆さん、明けましておめでとうございます。ことし、市内で大人の仲間入りする成人は2,698人あります。昨年は、インフレと不況、円高など目まぐるしい経済情勢の中に明け暮れましたが、この間、日中友好条約の調印や、大平新内閣の誕生などホットなニュースもありました。

また、ことしは、「羊の年」干支（えと）か

ら、しあわせを呼ぶ年ともいわれ、市にあっては、昭和60年を目標とする「新総合計画」がいよいよ具体化し、未知に向って大きく飛躍する年でもあります。

そこで、ことしは、成人を迎えた6人の代表から、「私は、こう生きたい」というテーマでことしにかける夢や希望などその抱負を卒直に聞いてみました。

私の選んだ道

小野弘恵さん(中里4)



私は今、某音大の1年生。すでに進むべき道が見えて

いるとでもいえましようか。今まで私が歩んできた道。これから歩もうとしている道が果して自分自身に対してよかったことなのか、今だよくわかりませんが、決して間違っていたとは思っていません。

私は小学校1年生の時からピアノを習ってきているわけですが、始めは好きでもない、嫌いでもない、いわば趣味程度の習い事にすぎなかったのです。それがどうでしょう。高校に入る時点で音楽高校と、早くもここで音楽という枠にはめ込んでしまったのです。そう、能動的に自分の将来を決定づけたのです。小さい時から続けてきたことをそのまま将来へ向けられる。そう思った時の満足感というのは、このうえないものでした。しかし、この間、挫折というものを何度、経験したことか、や

めてしまいたい時もありました。友だちが遊んでいるのを見て、何故私だけがこんなことを……と幼心に思うこともしばしばありました。そんなとき、いつも救ってくれた

失敗は二度やらない

大沼要三君(本市場)



期待と不安を胸に抱きながら、この大興製紙の門をくぐってから

早いもので、はや2年が過ぎようとしています。この間を振り返ってみると、富士山を見ながらの寮生活、会社での仕事で見るもの、聞くもの触るものが、すべて新しく興味深いものです。特に寮生活を体験したことで、学生時代両親の手の中で、ずいぶん甘えていたんだと思うようになったきょうこのごろです。

私もこの11月で20歳になり、一応大人の仲間入りをしたわけですが、

のが母でした。そして私が音楽で身を立てることができるならば、それは親孝行であり、また感謝の意を表すことでもあると思うのです。

私は今まで続けてきた。そしてもう切り離すことのできないだろう音楽との縁は、これからもずっと続けていきます。これが「私の選んだ道」だから。
(大学生)

今後は本当の大人になるために、自分の進む道をはっきりし、社会人としての自覚を持ち、すすんでいきたいと思ひます。

人間であるから、失敗もあります一度失敗したことは、二度とやらないように、自分自身に納得のいくまで勉強していきたくと思ひます。

こういうことを土台にして、その土台を一步一步踏みしめて、本当の大人に早くなりたく。20歳は、青春の真っ只中だ、その真っ只中にいる俺、中途半端では終らせたくない。

この社会に入ったのは、人が選んだわけじゃない。自分で選んだ道だ一生懸命頑張るぞ。

(大興製紙勤務)

私はこう生きたい

菊地 晴彦 君 (鮫島)



早いもので、社会人として2年の歳月が過ぎ、成人を迎えようと

20歳になると選挙権が与えられ、社会的責任を持たなければなりません。今までのような子供の考えかたではなく、大人のなしっかりした考えを持ち、立場を考えて行動して行かなくてはなりません。難かしい事

だと思います。今の私にできることは、人への感謝の気持ちを忘れずにお互いが見て見ぬ振りをせず、助け合って行くことだと思います。

大人、子供を問わず今の人達の中には、感謝の気持ちを忘れてる人が多いように思われます。

自分だけでも……とは大げさですが、忘れずに生きてゆきたいと思えます。
(旭化成工業勤務)

しています。今日まで自分なりに目標を持ち、厳しさを持って生きてきました。そして、離れて住む親に心配をかけないようにと頑張ってきました。ある時には、自分という存在がいやになり、逃げ出したいくなる事も幾度かありましたが、とにかくここまで無事になにもなく、これたことを嬉しく思っています。

迷わず進む



私が青年活動に参加してから2年がたとうとしています。社会人としてなれ

加藤 てるみ さん (神谷1)

恋愛もあります。時には反発しながら過ごしています。それだけでも青春を十分謳歌しているといえるのではないのでしょうか。

でも私は思うのです。誰が選んだものでもない、自分自身で選んだ道、青年団活動です。活動を通じて人間同志のつながりを持ち、それを維持することができたら、素晴らしいと思います。
(須津青年団)

ない毎日を過ごしていた私が、偶然に知った青年団には、会社では得ることのできない素晴らしい人とのつながりがありました。

入団当時、女子団員はわずか3名(うち同級生1名)ときびしい限りでしたが、そのかわり、会社での出来事から、個人的な不安や悩みを親身になって聞いてくれ、アドバイスしてくれる男性団員もいて、それはそれで私の生き方に大いにプラスとなっています。

現在、書記、会計という役職を持ち、女子新入団員10数名をひっぱって行く立場ともなっています。

ここで考えたいのは、青年団自体の意義です。年こそ18歳から30歳ぐらいいまでと、違いはありますが、同じ目的と地域にいる若者の集まりです。その中には友情もありますし、

自分自身に「何か」を

菅原 敏江 さん (依田橋町)



20年という年月が過ぎて、私も「20歳」という大人になっていました。そして気がつく、人生という長い道程の転換期に立っていたのです。いつかこんな日が来ることはわかっていたのに…

しかし、ここでもたついてはいつまでたっても「人生の明日への

これから、自分の持てる精一杯の力を出し、仕事にスポーツに努力し、今



まで以上に社会のこと、政治経済のことにも目を向けて行きたいと思えます。これから年をとっていき、「あの頃は……」と思えば、その頃が青春だったと思って良いのではないのでしょうか。又、努力したからこそ、青春の日々の思い出として残るでしょう。自分に対するこれからの課題として、「自分自身にどれだけ満足の行く、又、後悔をしない生き方をするか。」をかけた努力して行こうと思えます。(日産吉原工場勤務)

船」には乗れません。自分だけとり残されてしまいます。そのためにはこれからの自分を見つめていくための「何か」をつかむことです。

「20歳」をスタートラインに何にでも挑戦したい。挑戦して「何か」をつかみたい。自分自身の「何か」を…。いま人生の転換期。ゴールをめざして歩き始める私は、自分なりに、自分の長い人生の坂道を一步一步登って生きてゆきたい。まわり道をしてもいい。つまずいてもいい。それが私の人生なら…(興和富士工場勤務)

選挙への^関無^関心とたずねられたら

あなたなら……(ある街角で)

「あんまり関心ないです。(首をかしげながら) 投票には行きますが……」——若いサラリーマン風の男性

「ないですね。(そんなにキツパリといわなくてもいいのに) 関心をしめしていないというか、無関心な人が多いんじゃないですか」——若いOL

「親兄弟や身内の者がでてれば、あるんでしょうが関心あるのは市議会議員選挙ぐらいですネ。やっぱり身近だからネ」——鯛やき屋のオジさん

「私は選挙を始めから一回も棄権したことはないんです。義務とっておりますから。留守のときは、不在者投票もしますし」(当然のことという顔で)——バスを待つ中年のオバさん

「国も地方の選挙も、どっちも関心ありますヨ。やっぱり選挙権もっているんだから投票しなくちゃならないし、自然と関心もつんじゃない」(頼もしい)——カッコイイ若者

「関心ないといったらあれだけど……。選挙カーがまわってくるぐらいだし……。投票には行くけれども

(歯切れワルシ) あのオー、よくわからない」——子ども連れの若い母親

4月8日は「県議会議員選挙」
4月22日は「市議会議員選挙」
です

若い人は選挙に無関心?

いいえ、たまたま、そういう人にぶつかったと考えたいですネ。さて、あなたなら?

20歳になったら

国民年金に加入

成人式を迎えた若いみなさん、おめでとうございます。

日本人は、20歳になると国民年金の被保険者になることが、法律で定められています。

あなたが、まだ国民年金に加入していなければ、いまずぐに加入手続きをすませましょう。大学生でも本人の希望で加入することができます。

加入手続きは簡単です。印鑑(認印)をもって市民課窓口までお越しください。

なお、次の年金に加入している人は、国民年金に加入する必要はありません。

- ・厚生年金・船員保険・国家公務員・地方公務員・公共企業体職員・私立学校教職員・農林漁業団体職員の各共済組合など。



コンピューターふじ

人口 (53年12月1日現在)
 …………… 206,554人
 男… 103,732人、女… 102,822人
 世帯数…………… 57,359世帯
 工業生産出荷額(52年) 8,886億円
 紙、パルプ、加工々場… 338工場
 (うち 製紙工場 130工場)

煙突数 (10_本以上) 250本
 トイレット・ペーパー製造個数
 ……………月 6,000万個 (全国1位)
 学校数…………… 42校
 (高校6、中学校14、小学校22)
 公民館数…………… 15館
 商店数 (51年) …………… 4,299店

病院数…………… 186院
 公害病認定患者数…………… 1,002人
 自動車保有台数(県下4位) 94,901台
 交通事故発生件数(52年度) 1,096件
 電話加入台数…………… 59,125台
 田子の浦港入港船舶数… 8,242隻
 田子の浦港荷上トン数 613万トン